ひろしま県民だより KENMIN DAYORI

vol.386 AUTUMN
令和8年(2026年)
10月1日発行

広島の未来をのぞいてみよう!

安心▷誇り▷挑戦
ひろしまビジョン 改定版

人口 2,677,119人(前年同月より20,156人減少)　**男性** 1,300,587人　**女性** 1,376,532人　※令和8年8月1日現在　出典:広島県人口移動統計調査

広島県ではさまざまなメディアで
役立つ情報を発信しています。

広島県 ホームページ
ひろしまラボ
ひろしま県民だよりWEB版はホームページよりご覧いただけます
※これらの二次元コードはスマートフォンのみ対応しています　広島県　検索

広島県公式 LINE	広島県公式 Facebook	広島県公式 TikTok	広島県公式 X	広島県公式 Instagram ええじゃろ広島
LINE ID @hiroshima_pref	Facebook ID @pref.hiroshima	TikTok ID @hiroshima_pref	X ID @hiroshima_pref	Instagram ID @hiroshima_jpn

広島県 編集・発行／広島県総務局広報課　〒730-8511 広島市中区基町10番52号　TEL082(513)2378　インターネットFAX050(3156)3485

INFORMATION　令和8年 10-12月のお知らせ

ミニ伝言板

令和8年社会生活基本調査の実施

内容 総務省及び県では、令和8年10月に現在の生活状況を把握するため、社会生活基本調査を実施。1日のうち仕事、家事、地域での活動にどのくらいの時間を使っているかなどを調査し、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進や、少子高齢化対策などの施策に必要な基礎資料を得ることを目的としています。10月上旬から中旬に、広島県が任命した調査員が調査対象となった世帯を訪問しますので、調査の趣旨をご理解の上、ご回答をお願いします。

詳しくは
統計課
TEL 082(513)2533
社会生活基本調査について

10月は「食品ロス削減月間」

内容 本来食べられるにもかかわらず捨てられる食品「食品ロス」。広島県では、年間約10万トン（令和6年度推計値）発生しています。県では「"もったいないをいっしょに"減らそう食ロス広島アクション」をキャッチコピーに、関係者と連携し、食材の「使いきり」、食品の「手前どり」、料理の「食べきり」の３つのアクションを中心に、食品ロス削減の取組を推進しています。
今年度は、広島県東広島市出身のさいねい龍二さんにアンバサダーとして協力をいただき、キャンペーンを集中的に実施。詳しくは広島県ホームページをご覧ください。

詳しくは
循環型社会課
TEL 082(513)2951
広島県食品ロス削減ポータルサイト

働きたい人全力応援ステーション

内容「こんな仕事や働き方をしてみたい」という思いを尊重し、「あなただけの仕事探し」をサポートします！
広島県の相談窓口「働きたい人全力応援ステーション（愛称：はたすて）」では、皆さんが目指す理想の「働きたい」を納得いくまで丁寧に支援。異業種転職を考えている、ブランクがあって不安、人間関係に悩みがち…。まずは就労準備として、企業見学や実習から始めてみませんか。「自分にできる作業や仕事内容かな？」といった不安を解消するためにもおすすめ。
企業との交渉や調整は「はたすて」が実施。実習への同行やカウンセリング、相談など希望に応じたサポートで、あなたのチャレンジを後押しします。

詳しくは
働きたい人全力応援ステーション
TEL 082（224）0121
はたすてサイト

広島県求人サイト「ひろしまワークス」

内容「広島」での仕事探しは、広島県公式求人サイト「ひろしまワークス」で！ 掲載企業情報は常時1,500社以上。PR動画や働き方紹介など職場の様子が分かる情報も充実。求人情報は有効掲載期間3カ月の新しい情報を中心に約500件。「経験不問」「時短勤務OK」のほか、「シニアの方活躍中」「障害者採用」など、多彩な条件で検索できます。
応募は各求人ページから直接可能。「おすすめ相談窓口診断」も用意しています。移住支援金の対象求人も掲載。東京などから帰郷される親族などへもご紹介ください。

詳しくは
雇用労働政策課
TEL 082(513)3425
ひろしまワークスサイト

瀬戸内しまなみ海道 通行止めのお知らせ

内容「サイクリングしまなみ2026」の開催に伴い、瀬戸内しまなみ海道本線（西瀬戸自動車道）が、下記のとおり通行止めとなります。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。なお、車両で移動される場合は、迂回路（瀬戸中央自動車道、神戸淡路鳴門自動車道）、または臨時フェリーをご利用ください。

日時　令和８年10月25日（日）

区間　瀬戸内しまなみ海道本線（西瀬戸自動車道）
○尾道大橋出入口～因島北IC 上下線
6:00 ～ 10:00（4時間）通行止
※新尾道大橋は通行不可、尾道大橋は通行可
○今治IC ～因島北IC　上下線
6:00 ～ 12:40（6時間40分）通行止

※臨時フェリーの航路等の詳細は、大会ホームページで告知。原付道及び自転車歩行者道は通常通り通行可

詳しくは
サイクリングしまなみ実行委員会
TEL 0898（23）3055
サイクリングしまなみ2026

みんなで創る、新しい"バス"のカタチ

バス協調・共創プラットフォームひろしま

人口減少、運転手不足など厳しい環境にあるバス事業。「バス協調・共創プラットフォームひろしま」では、利用者の声やデータを生かし、バス路線の見直しや利用促進など、バスをより良くする取組を進めています。その一つが「こども50円バス」。子どもにバス利用の習慣を身に付けてもらおうと企画し、広島県からの声掛けをきっかけに県内全域へ広がりました。みんなで知恵を出し合い、バスを便利にするだけでなく、路面電車などのさまざまな交通ともつながり、自由に移動できる広島を目指します。

広島は昔から「バスの街」
都市部だけでなく、山間部や狭い地域まで、さまざまな場所を縫うように走り、移動を支えています。

WEB版でもっと詳しく

プロフィール
広島市と8社のバス事業者が設立し、バスの利用促進や、路線・サービスの改善などに取り組む全国初の一般社団法人。広島の未来を支える"分かりやすく使いやすい交通の実現"を目指す。

江戸時代から続く筆文化のまち・熊野町。熊野町美術博物館「筆の里工房」に、「描いてみたい」「作ってみたい」という気持ちをかなえてくれる「創作館」がオープン。熊野筆や墨を使った書の体験をはじめ、色鉛筆やガラスペンで自由に描いたり、七宝焼きやガラス工芸、レーザー加工機や３Dプリンターを使ったものづくりに挑戦したりと、子どもから大人まで五感で楽しめるプログラムが充実。手ぶらで気軽に創作を楽しめます。イベントも随時開催予定。カフェやラウンジもあり、ゆったり過ごせます。

筆の里工房 HP

「HIROSHIMA PRIDE」を胸に、新たな舞台へ

「HIROSHIMA PRIDE」を掲げ、地域とともに歩む「広島ドラゴンフライズ」。2023-24シーズンにはB.LEAGUE優勝、2024-25シーズンにはEASL（東アジアスーパーリーグ）を制するなど、日本を代表するクラブへと成長しました。今シーズンは新たなトップカテゴリー「B.PREMIER」が開幕し、ホームアリーナは広島グリーンアリーナへ。昨季からの戦力を生かし、アグレッシブなバスケットボールで頂点を目指します。イチオシ選手はゲームを組み立てる司令塔・寺嶋良選手。現在はケガからの完全復活を目指し、再びコートで躍動する日へ向け挑戦を続けています。

てらしまりょう 寺嶋良選手
何があっても諦めずに戦いたい。同じようにケガで苦しんでいる子どもたちの希望になれたらうれしいです。

Team WISH We Illuminate Sports in Hiroshima

PRESENT　JA全農ひろしま「あきろまん」

抽選で5名様

※写真はイメージ

「OK!!広島（おいしいけぇ、ひろしま）」とコラボした、広島県産米の新米キャンペーンが10月からスタート！　対象の広島県産米を購入し、米袋に貼られたキャンペーンシールから応募すると、抽選でステキな賞品が当たります。今回はキャンペーンにちなみ広島県オリジナル品種「あきろまん（5kg）」の新米を5名様にプレゼント。つやのあるご飯とあっさりとした味わいが特徴です。新米ならではのおいしさを、ご家庭でぜひ。

【応募締切】令和8年10月31日（土）消印有効
【応募要項】ハガキ＝住所・氏名・年齢・電話番号・今回の県民だよりの感想を記入し、〒730-8559（住所不要）広島リビング新聞社内「ひろしま県民だより　プレゼント」係へ。WEB＝右記二次元コードから、または「ひろしま県民だより」HPから

応募はコチラ

※応募は1人1回のみ有効。個人情報はプレゼント発送と読者調査にのみ利用します。なお、感想を県HPに掲載させていただくことがあります。予めご了承ください。※プレゼントの応募受付・発送・アンケートの取りまとめに関しましては、紙面制作を受託する株式会社広島リビング新聞社が行います。

ENERGY OF PEACE ひろしま

県民だよりに関するお問い合わせ
広島県総務局広報課　Eメール soukouhou@pref.hiroshima.lg.jp
TEL 082(513)2378／インターネットFAX 050(3156)3485

ひろしま県民だより KENMIN DAYORI
「県民だより」は、県の施設、市町窓口、県内の主なスーパーなどで配布をしています。また、視覚障がい者の方向けに、点字版、音声版も発行しています。ご希望の方は広島県総務局広報課へご連絡ください。

「安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン」を改定！

今後10年間の目指す姿とその実現に向けた取組の方向性を県民の皆様に提示し、一緒に新たな広島県づくりを推進するため、令和２年度に「安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン」を策定し、取組を進めてきました。
策定から５年が経過し、社会経済情勢が大きく変化しました。

背景　社会経済情勢が大きく変化

- ☑想定を上回るペースで進む**人口減少**
- ☑急増する県内の**外国人労働者や海外からの観光客**
- ☑急速に革新・普及が進む**デジタル技術と関連産業の発展**
- ☑**自然災害の激甚化・頻発化**や顕在化したリスクへの対応
- ☑インフレ傾向と賃金上昇の兆し、不確実性の高まる**国際・経済情勢**

こうした変化を踏まえ、目指す姿の実現に向けて、「ひろしまビジョン」を改定し、県民の皆様と一緒に、新たな広島県づくりを推進していきます。

目指す姿

県民一人一人が「安心」の土台と「誇り」により、夢や希望に「挑戦」しています
～仕事も暮らしも。里もまちも。それぞれが望むライフスタイルの実現～

改定のポイント①　今後５年間の方向性の設定

若者を中心とした転出超過を含む人口減少や激甚化・頻発化する自然災害などの社会経済情勢の変化に対応していくため、今後５年間の方向性を設定しました。

シン・ファミリーフレンドリー　〝家族で暮らしやすいまちは、誰もが暮らしやすい〟

本県の魅力を高め、様々な家族が暮らしやすい社会を実現することは、誰にとっても暮らしやすい社会につながります。ひいては、本県を訪れる人にとっても、本県に関わる人にとっても、魅力的に感じてもらえる「シン・ファミリーフレンドリー」な広島県を創っていきます。

改定のポイント②　今後５年間で特に注力する重点項目の設定

人口減少の抑制と持続的な地域社会・経済成長の実現に向けて、次の５つを重点項目として取組を進めます。

- 若者に選ばれる広島県
- 女性に選ばれる広島県
- 子育てしやすい広島県
- 強固な社会経済基盤の確立
- 広島の財産と経験の継承

ビジョン改定の詳細はコチラ

5年後、私たちの暮らしはどう変わる？
「広島の未来」をのぞいてみよう！

これからの広島が、もっと暮らしやすく、働きやすく、挑戦できる場所になるために。広島県が今後5年間で特に力を入れる5つの重点項目から、私たちの暮らしにつながる「広島の未来」をのぞいてみましょう。

Web版 県民だよりはコチラ

ここがすごいぞ広島県　～こうした強みを更に伸ばしていきます～

- **広島に本社などを移転した企業241社**　オフィス進出をサポートしています
  ※平成28年度から令和7年度までの10年間
- **100社以上の半導体関連企業が集積**　世界を支える半導体産業が広島に集まっています
  ※令和8年度広島県調べ
- **半導体デバイスを含む電子部品・デバイスの県内総生産が約5.7倍**　半導体関連企業の競争力強化に取り組んでいます
  ※平成24年度の687億円から令和5年度には3,886億円に

学生リポーターが企業インタビュー

広島には、どんな仕事や働き方がある？　これから社会に出る学生リポーターが、県内企業で働く人をインタビュー。仕事の魅力や働き方、広島で働くことについて聞きました。

安田女子大学　葛城結芽（かつらぎ ゆめ）さん　株式会社エクレクトを取材
安田女子大学　大島摩菜美（おおしま まなみ）さん　株式会社ドリーム・アーツを取材
福山市立大学　森山綾香（もりやま あやか）さん　株式会社ジェーイーエルを取材

IT企業　株式会社エクレクト

私が取材　イノベーションは東京だけじゃない

「イノベーションは東京だけで生まれるものではない」という言葉がとても印象的でした。広島だからこそ生まれる新しいアイデアや働き方があることを知りました。広島県の誘致をきっかけに広島に拠点を置き、オフィスは自然と会話が生まれるように工夫されているそうです。大崎上島町には研修施設があり、場所を変えることで新しい発想につなげていることにも驚きました。出社やリモートワークなど、自分に合った働き方を自由に選びながら、広島で新しいことにチャレンジできることに魅力を感じました。

続きはWeb版へ

IT企業　株式会社ドリーム・アーツ

私が取材　広島にいても、仕事の舞台は全国

東京と広島に拠点があり、東京で経験を積んだ後、広島で同じ仕事を続けられ、広島にいながら全国の仲間とつながって、若手のうちから仕事を任せてもらえる環境があるとか。広島で働きたいと思っている私には魅力的でした。オフィスにはハンモックや畳のスペースなど、リフレッシュしたり、社員同士の会話につながる工夫があり、県産木材を使った温かみのある空間も印象的でした。広島を拠点に、子育てやライフスタイルを大切にしながら働くことができ、全国を舞台に挑戦できる働き方があることを知りました。

続きはWeb版へ

半導体関連　株式会社ジェーイーエル

私が取材　福山から、世界につながる仕事

海外の企業とも取引があることを知り、福山から世界の半導体産業を支えていることに驚きました。要望に応じて製品をカスタマイズし、技術を磨き続ける姿勢も印象的でした。福山には、自分たちの技術を強みに成長してきた企業が多いという話も心に残っています。若手からベテランまで周囲に相談しやすい環境や、家庭の事情にも柔軟に対応してくれる働きやすさも魅力的でした。また、尾道市の協力を受けて進出を決め、その後、広島県からも支援を受けながら、10月には尾道にも新しい工場を開設すると聞き、さらに発展していく産業だと感じました。

続きはWeb版へ